

# 農業者営農継続緊急支援事業について

報告 番号	4	資料 番号	1
農政課			

## 1. 背景・目的

令和4年度から、原油高や円安等による資材価格の高止まりによって農産物の生産費が増加しており、農業経営に大きな影響を与えています。加えて、この夏の異常高温による生育不良などから収入が減少する等、農業経営を取り巻く現状は一層厳しさを増しています。

こうした状況のもと、農業経営を継続することが困難になっている農業者が多数いることから、市では、農業者に対する緊急的な支援を行いたいと考えています。

## 2. 制度の概要

	水稲	野菜	果樹	畜産
交付単価	5,000円/10a	5,000円/10a	5,000円/10a	乳牛：20千円/頭 肉牛：15千円/頭 豚：1千円/頭 鶏：2千円/100羽
対象者 ※全ての要件を満たしていること	・市内在住で、20a以上水稲を栽培し、販売していること ・水稲生産実施計画書を提出し、市税等に未納がないこと	・市内在住で、野菜を栽培し、販売していること ・市税等の未納がないこと	・市内在住で、果樹等を栽培し、販売していること ・市税等の未納がないこと	・市内在住で、畜産業を営んでおり、販売していること ・市税等の未納がないこと
対象戸数	1,129戸	300戸（見込）	30戸（見込）	8戸
対象面積等	3,215ha 〔主食用水稲の作付面積のうち、市が示した生産数量目標率65.72%を限度とする。〕	130ha（見込）	13ha（見込）	乳牛：20頭程度 肉牛：45頭程度 豚：2千頭程度 鶏：3万羽程度
予算額	160,750千円	6,500千円	650千円	3,680千円

※10月末現在水田台帳、2020農林業センサス、家畜生産実態調査、農水省の農業生産資材の価格指標、県の作物ごとの試算より算出

## (参考) 作物ごとの影響

	水稻	野菜	果樹	畜産
高温による影響	米の等級が大きく下落し、コシヒカリは1等米がゼロ(例年80%程度)となり、3等米比率が80%程度に下落	長ねぎ、ブロッコリー、キャベツ等は生育が遅れ、一部枯れたものや規格外が発生	梨はサイズが例年より小さいものが多く、出荷量が減少	牛、豚、鶏ともに生育の悪化や生産量の低下等のほか、鶏が死亡するケースも発生
資材価格高騰による影響	肥料等は下落傾向にはあるものの、令和4年度からの高騰以前より高く、高止まり傾向	肥料等は作物によって異なるものの、水稻と同様の傾向	肥料等は作物によって異なるものの、水稻と同様の傾向	畜種によって多少の開きはあるものの、飼料代が令和2年度から1.6倍程度に上昇

### 3. スケジュール

- ・ 12月 5日(火) 事業周知、申請書発送 農政課窓口にて順次受付開始
- ・ 12月13、20日(水) 夜間申請受付会の開催 (市役所を会場に19:30まで申請受付予定)
- ・ 12月17日(日) 申請受付会の開催 (市役所を会場に開催予定)
- ・ 2月29日(木) 申請締め切り

※申請受理後、審査・交付決定の上、順次指定口座に振り込み

### 4. 予算額

- ・ 農業者営農継続緊急支援金 171,580千円
- ・ 通信運搬費 (郵送料) 420千円
- 計 172,000千円